

岩津ねぎだより

令和4年5月27日
岩津ねぎ産地協議会生産支援チーム

- ① チェーンポット苗は、倒伏前に剪葉作業を行いましょ。地床苗は、密生している場合は間引きを行いましょ。いずれも、播種後1ヶ月が過ぎて葉の色が薄い場合は追肥を行いましょ。
- ② 梅雨時期になると定期的な降雨で本田の準備が遅れます。ほ場が乾いている時に本田の準備をしましょ。

1 播種～出芽揃期のほ場巡回を実施しました

今年の発芽状況は、チェーンポット、地床、セル育苗いずれも概ね良好ですが、播種時期の4月中旬から5月上旬は、日中は暖かいものの、朝夕は寒い日が続いたため、生育がややゆっくりでした。

特に、チェーンポット育苗では、灌水ムラによって培土が乾燥し、揃いが悪いほ場が見られました。

また、被覆資材の除去の遅れ、多灌水による培土の多湿や水はけが悪く苗床が過湿状態のほ場では、苗立枯病が見られました。

育苗後半も苗床の排水対策と灌水など適正な水管理を徹底しましょ。



ほ場巡回(5月17日)

2 今後の育苗管理

(1) チェーンポット苗

① 剪葉の実施

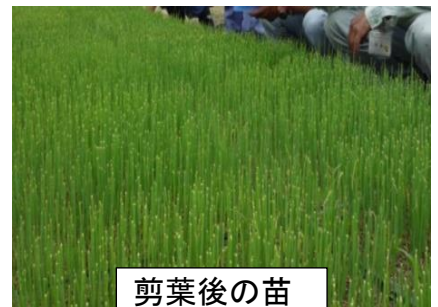
〈目的〉 苗を太くする、徒長防止、作業性の向上。

〈時期〉 苗の草丈が20cm以上となり、倒伏が始まった頃。

〈程度〉 短くしすぎると生育が遅くなるので、12cm以下にしない。定植時は15cm以上を確保。

〈回数〉 生育状況を見て数回実施する。

※共用の葉刈機は、使用前後に水洗いをして清潔に保ちましょ。



剪葉後の苗

② 追肥の施用

播種後1ヶ月が過ぎ、葉色が薄い場合は、燐硝安加里S604を1トレイ当たり20g散布します。

また、定植2週間前に発根促進のため、液肥を500倍に薄めて施用します。

③ 灌水の実施

苗と培土の状況をよく観察し、乾燥している場合は均一に灌水をします。



乾燥による葉先の枯れ

(2) 地床育苗

- ① 播種床で密生している所は、草丈が 25cm になるまでに、数回に分けて間引き作業を実施します。最終目標本数は、播き溝 1 m 当り 80~100 本になるように作業します。
- ② 播種後 1 ヶ月が過ぎ、葉の色が薄くなれば、燐硝安加里 S604 を 1 a 当り 2 kg 散布します。

3 本田の準備

梅雨時期になると定期的な降雨で本田の準備が遅れます。土を練らないように、ほ場が乾いている時に本田の準備をしましょう。

① 排水対策の徹底

ねぎは過湿に非常に弱い作物です。本田の周りに額縁明渠等の排水溝を必ず設置し、水が溜まらないように排水対策を徹底します。

② 土づくり肥料の施用・耕耘

定植 1 ヶ月前までに酸度矯正のため、セルカまたは苦土石灰を 100kg/10a、BM ようりんを 40kg/10a 施用し、耕耘して土を細かく砕いておきます。

4 病虫害防除

気温上昇や多湿条件で病虫害が発生しやすくなります。予防を中心に病虫害防除を実施しましょう。

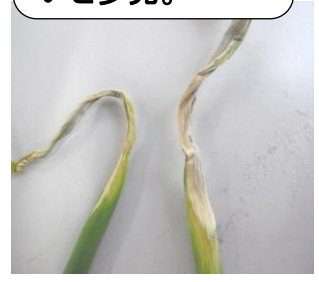
べと病: 平均気温 15~20°C で降雨が続くと発病が多い。



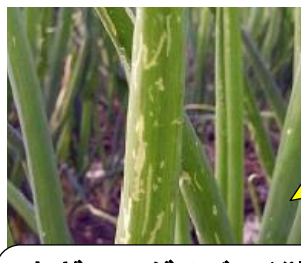
さび病: 春と秋に降雨が多いと多発。



疫病: 気温 26~30°C で降雨が多いと多発。

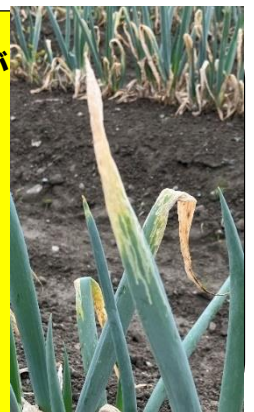


アザミウマ類: 白く、かすり状の吸汁痕。



ネギハモグリバエ(従来系統): 白く線状に幼虫が食害

従来系統よりも、被害が著しい「**ハモグリバエB系統**」にも要注意！！
B系統は、多数の幼虫が集中的に加害し、被害が大きな葉は食害痕が融合して白化します。
※見た目の区別は困難



※ 防除は防除暦を参照してください

<問合せ先> 朝来農業改良普及センター: 672-6886

和田山営農生活センター: 672-4800 山東営農生活センター: 670-7744

朝来営農生活センター: 670-4341